

## 政府における情報保全に関する検討委員会（第2回）議事要旨

- 1 日 時：平成23年7月1日（金） 16：30～16：45
- 2 場 所：総理官邸4階大会議室
- 3 出席者：枝野 幸男 内閣官房長官  
仙谷 由人 内閣官房副長官  
福山 哲郎 内閣官房副長官  
瀧野 欣彌 内閣官房副長官  
伊藤 哲朗 内閣危機管理監  
佐々木 豊成 内閣官房副長官補（内政担当）  
河相 周夫 内閣官房副長官補（外政担当）  
西川 徹矢 内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）  
植松 信一 内閣情報官  
西村 泰彦 警察庁警備局長  
寺脇 一峰 公安調査庁次長  
篠田 研次 外務省国際情報統括官  
牛島 清 海上保安庁警備救難監  
高見澤 將林 防衛省防衛政策局長  
  
小池 英樹 情報保全システムに関する有識者会議 座長  
電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授

### 4 議事概要

#### （1）情報保全システムに関する有識者会議の報告書の提出

情報保全システムに関する有識者会議が取りまとめた報告書が、同会議の小池座長から、本委員会の委員長である枝野内閣官房長官に提出された。

#### （2）内閣官房長官挨拶

- 有識者会議の皆様には、昨年12月から大変精力的に御議論をいただき、今後、特に機密性の高い情報を取り扱う政府機関の情報保全システムを強化する上で指針となる、大変貴重、立派な報告書を仕上げていただいたと思っている。この場をお借りして、心より御礼申し上げる。
- この委員会における検討は、昨年発生した情報流出事件等を契機として開始したものだが、IT技術やネットワークを悪用して、政府機関等の重要な情報

を外部に流出させようとする事案は我が国に留まらず、世界的にも発生しており、こうした脅威から重要な情報を守るための対策の検討と、そして実行が喫緊の課題となっている。この報告書の重要性は、そうしたことから一層増していると感じている。

- 本日は、この報告書を受けて、本委員会としての対応方針を決定する予定だが、これは、今後我が国政府機関における情報保全のレベルを飛躍的に高めていく上で大変重要な一步であると考えているので、よろしくお願ひしたい。

(3) 有識者会議の報告書の内容について

事務局から、配付資料に基づき、有識者会議の報告書の内容について説明したほか、有識者会議の小池座長から、次のような発言があった。

- 報告書は、運用面にも配慮しつつ、情報漏えいの防止と事後対策を重視するという内容になっている。今後の対策の取組についてよろしくお願ひしたい。

(4) 特に機密性の高い情報を取り扱う政府機関の情報保全システムの強化に向けた取組の推進について

事務局から、配付資料に基づき説明し、原案のとおり決定された。

(5) 内閣官房長官発言

最後に、内閣官房長官から次のような発言があった。

- この委員会の設置の契機となった、内部からの情報漏えいを二度と起こさないという覚悟を持って万全の策を講じていただきたい。
- 重ねて、小池座長を始め有識者会議のこの間の御検討に心から感謝申し上げる。